



み い

60年

4月

№312



今日から一年生

桜の花が美しく咲き誇る中、四月九日町内八つの小学校で、入学式が行われました。

本年は、男子二九名、女子二七名の合せて五六六名が、新一年生となりました。新入生たちは、これからの楽しい学校生活を夢見ながら、無事入学式を終え、同級生と一緒ににぎやかに帰宅して行きました。（写真は羽生田小学校の入学風景）

前年度比14.8%増

に使われる 一般会計66億11,00万円

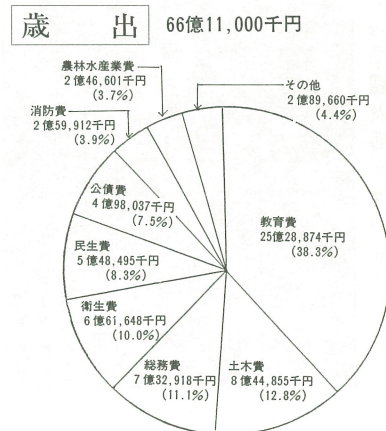
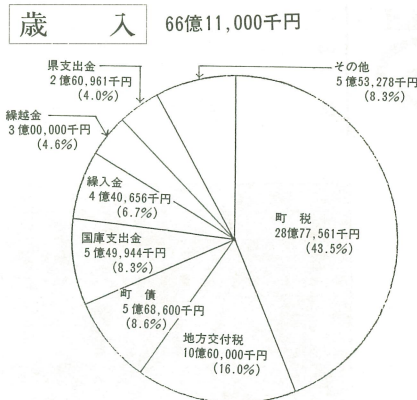
昭和六十年度の町の予算が、二月八日から二十日まで開かれた定例町議会で議決されましたので、そのあらましについてお知らせします。

一般会計のあらまし
ふれあいの広場など建設

昭和六十年度の一般会計の予算規模は、六十六億一千百万円で、前年度当初予算に比べて十四・八％の増となりました。重点事業としては、稲葉小学校の整備、壬生中学校柔剣道場整備事業を計上し、義務教育施設の充実を図ります。また、社会教育施設では、昭和五十九年度からの継続事業で実施している総合会館（中央公民館、図書館、歴史民俗資料館）を完成し、生涯教育の拠点として、そのほかまちづくり事業として町民の「ふれあいの広場」を建設するとともに、総合運動場に武道館を建設します。

良・舗装、都市公園事業、都市計画街路事業、農道整備を推進し、地域環境の整備を図るとともに、尿処理施設においても緊急性にかんがみ、用地取得費及び造成費等を計上し、早期実現を目指します。保健センター及び福祉の面では、保健センターと福祉センターを複合施設として、総合運動場テニスコート西側に建設し、公衆衛生の向上と福祉の充実を図ります。農商工の振興では、前年度に

引き続き県営園地整備（羽生田地区）団体営園地整備（上田・中泉地区）を継続して推進するとともに、国谷・福和田地区については、昭和六十一年度県営事業として、事業に着手するため調査費を計上しました。商工業の発展策としては、商店街振興事業助成、中小商業者貸付金を計上し、地域商工業者の育成を図ります。なお、詳細については、グラフ・表をご覧ください。



このよう 町づくりに

昭和60年度 の主な事業

教 育

・心豊かな人づくりを進めるための予算で、教育費がこれに当たります。

○稲葉小学校増改築事業
校舎、鉄筋コンクリート造
三階建

○フルあいの広場整備事業
鉄骨造七〇〇㎡

○フルあいの広場整備事業
フルボール場、キャンプ場
（ブルー）

○武道館
三二、二〇〇千円
八九一㎡

住 民 福 祉

・「生きがいのある住民福祉の充実」をはかるための予算で、民生費、衛生費などがこれに当たります。

○重度心身障害者医療扶助
一、六〇〇千円

○老人クラブ育成補助
三、三三三千円

○福祉センター施設整備事業
七六〇㎡

○保健センター建設事業
八八三・二八㎡

○民間保育園委託料
四七、五一六千円

産 業

・豊かな生活を生む産業の振興をはかるための予算で、農林水産業費、商工費がこれに当たります。

○県単水田利用再編対策特別事業
一〇、〇〇〇千円

○肉用牛導入促進資金貸付
一〇、〇〇〇千円

○農道整備事業
五路線
上田・中泉地区

○産業振興補助（商工会）
九、五〇〇千円

生 活 環 境

○中小企業融資制度貸付
九〇、九〇〇千円

・「くらしよい環境づくり」を進めるための予算で、衛生費、土木費、消防費などがこれに当たります。

○家庭雑排水処理施設設置補助
六〇〇千円

○尿処理関係
一三九、一三三千円

○上下水道会計補助・繰出金
八、六〇〇千円

○道路新設改良費
四〇七、三二五千円

○国谷土地地区面整理事業特別会計繰出金
八九、二〇〇千円

○公表下水道事業特別会計繰出金
七〇、〇〇〇千円

○近隣公園整備事業
六八、四四四千円

○住宅建設貸付金
一八、〇〇〇千円

○広域消防組合負担金
一九七、七八千円

○防火貯水槽工事
九基

○交通安全施設工事
七、九五〇千円

特 別 会 計 予 算

水 道 事 業	前年比	国 谷 土 地	前年比
収益的予算	383,559千円 (1,028千円増)	区画整理事業	269,360千円(107,980千円増)
資本的予算	19,630千円 (8,605千円増)	公共下水道事業	622,574千円(45,468千円増)
奨学資金	2,451千円 (752千円増)	国民健康保険	1,436,041千円(59,394千円増)
		老人保健事業	873,844千円(10,208千円増)

59年度事業の 校舎・体育施設の落成祝う

藤井・羽生田小校舎、南大中柔剣道場



新校舎完成を祝う羽生田小の子どもたち

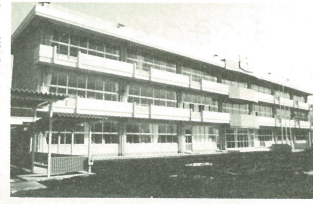
町では、五十九年度中に完成した藤井小学校、羽生田小学校および南大飼中学校柔剣道場の合同落成式を、三月二十六日町民協会の館で町議会議員、工事関係者約百人を招いて行いました。この日は、式典に先立って、完成したばかりの各施設を見学したあと、午前十一時三十分から式典を開きました。

各施設の建設概要は次のとおりです。
藤井小学校
 建築場所 壬生町大字藤井、二六〇番地
 建築期 昭和五十九年六月二十五日着工、昭和六十年二月二十三日完成
 総工費 三億四千七十万円
 施設概要
 校舎 鉄筋コンクリート
 三階建、二〇九八㎡
 通教室六、管理諸室三、特別教室六、多目的ホール一
 給食室 鉄筋コンクリート
 平家建、二二八㎡
 食堂 鉄筋コンクリート
 平家建、一四六㎡
 食 堂 鉄筋コンクリート
 平家建、一四六㎡

南大飼中学校柔剣道場
 建築場所 壬生町大字北小林、七四三番地
 建築期 昭和五十九年九月二十日着工、昭和六十年二月二十三日完成
 総工費 七千八百五十一万円
 施設概要
 柔剣道場 鉄骨一階建七〇五㎡(道場四四一㎡、通路一四七㎡、タミ庫一三㎡、器具庫二八㎡、更衣室三五㎡、その他二一㎡)



完成した藤井小(郵便局簡易保険・郵便年金融資施設)



完成した羽生田小(郵便局簡易保険・郵便年金融資施設)



完成した南大中柔剣道場

独協医大病院が火災 本番さながらに消防演習

春の全国火災予防運動期間中の三月九日、石橋地区消防組合と町消防団合同の消防演習が、独協医科大学病院で行われました。

この演習は、春の火災予防運動の一つとして、異常乾燥注意報発令中における、不特定多数の者が出入する病院の火災を想定し、患者や病院内の火災の避難誘導、初期消火訓練を行ったものです。

われは、北西の風五メートル、午後一時一九番通報により、独協病院西病棟五階配膳室にある、金銭湯沸器故障でガスもれし、デイルームの患者のたばこの火から、引火爆発炎上したことを想定し行われました。自衛消防隊の懸命の初期消火にもかかわらず、東病棟の病室に延焼拡大し、各病棟の患者、医師、看護婦及び多数の外来者を無事誘導しました。

演習には、消防団員をはじめ関係者多数が、真剣に取り組んでいましたが、実際の時には多くの負傷者が出ることが予想され、参加した人達は、當日頃の心掛けの大切さを痛感されていました。



本番に備える団員たち



手作りの消火器でPR(石橋消防壬生分署)

アフリカ救援募金 85万円を寄付

自治会連合会



各自治会からの募金を町に寄付

町自治会連合会(松本万里会長)では、各自治会員は、アフリカ飢饉を救済しようとする募金を呼び掛け、集った約八十五万円の救済金を、三月十一日町へ寄付されました。

地価公示価格 決まる

昭和六十一年の地価公示価格が公表されました。この価格は、土地について売り手、買い手どちらにも片寄らない「正常な価格」を表したものです。

- | | |
|--|--|
| 市街化調整区域
中央町三七番三 中央町二一五
五五、二〇〇円
安塚字下原六一九番四五
五二、三〇〇円
第一種住居用地
大師町八二九番三外(大師町一五一三)
七四、四〇〇円 | 市街化区域
近隣商業地域
通町二四一番二 通町三一
七八、〇〇〇円
市街化調整区域域内宅地
藤井字星の宮二七六番
七〇、〇〇〇円
七ツ石字柴田内七九番
七四、四〇〇円
安塚字西原二三八番一
一一、八〇〇円 |
|--|--|

壬生町民憲章 1. 思いやりに満ちた心であたたかい社会をつくります

壬生町民憲章 1. 自然と歴史を大切に、よりよい環境をつくります

日ごろ知っておきたい 乳児・妊産婦医療費の受け方

乳児・妊産婦医療費の 助成制度とその手続き

この医療費の助成は、乳児・妊産婦の病気の早期発見・早期治療を促進し、保健の向上と福祉の向上を図ることを、目的として行われています。

乳児医療費の助成

○助成を受けられる方
健康保険に加入しておりかつ町内に住所のある一歳に満たない乳児の保護者
○支給期間
誕生から満一歳になる日の属する月の末日までで、転入のときは転入日から、転出のときはその日まで
○医療受給資格証交付申請に



母親学級の様子

妊産婦医療費の助成

○助成を受けられる方
・妊娠の届出が受理された日の属する月の初日から、出産した日の属する月の翌月の末までの方
・町内に住所があり、健康保険に加入している方
○支給期間
妊娠の届出が受理された日の属する月の初日（ただし、妊娠に起因する産科的

医療費助成の申請

○助成額
受給期間に受けた保険給付に、一部負担金を窓口などから支払った金額（ただし、高額療養費、附加給付等を差し引いた額）です。口座振込により助成します。

その他

「医療費受給資格者証」の裏面の注意事項をよく読んでください。なお、受給資格がなく、ただし、高額療養費、附加給付等を差し引いた額）です。口座振込により助成します。

新一年生に 黄色帽子プレゼント

明るい社会づくり王生支部



王生小で黄色帽子贈る社明会の代表

から守ろうと、通学用の黄色帽子五九〇個を町教育委員会を通して、各小学校へ贈りました。この新入児童への黄色帽子のプレゼントは、社会を明るくする会が毎年行っているもので、学校はじめ、父兄から「交通安全防止に役立つ」と、大変感謝され、喜ばれています。父兄のみならず、「この気持ちを大切に我が子に正しく交通ルールを指導していきたい」と交通安全防止への熱を燃やしています。

町史研究

あ れ こ れ

— 21 —

壬生氏五代 の廟所 (1)

京都室町では足利幕府の力が衰え、金国麻の如く乱れ始めた戦国時代、我が壬生の歴史に登場して来るのが、下野壬生氏五代の祖壬生彦五郎胤業である。

壬生五代の歴史は、「下野国誌」や「押原推移録」などに出ていたが、現在する壬生氏関係の中文書が非常に少なく、近世になって書かれたものの中には、諸書の伝える所異同が多く、読んでいて頭が混乱してくる。



壬生氏歴代の墓（常楽寺）

「下野国誌、壬生系図」によって定説的に伝えられる所は、壬生氏の廟所としては、三谷の当町常楽寺に五代義雄とその娘伊勢の墓二基、鹿沼市雄山寺に五代義雄の墓、同下決恵光寺（現宝光寺）に三代綱房と四代綱雄の墓があり、廟所ではないが、鹿沼市北赤塚広済寺は、義雄の後室（未亡人）が壬生氏滅亡後住んだという亀和田の後室庵と交流があったらしく（「壬生官務家文書」京都大学古文書室蔵）、又当町興生寺も三代綱房の建立（再興）と下野国誌に伝えられている。さて常楽寺の廟所を詣ると、中央に大きな笠付型墓碑があり、その側に三基の五輪塔がある。

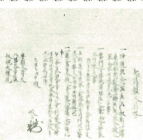
町史編さん だより

43

剣の道 神道無念 流と壬生 (3)

松本五郎兵衛（昇）の後は継ぐように、壬生藩士で同門の達人であり、江戸練兵館の幾頭を務めたのが原正一郎（昌一郎）正道がいる。

両者とも同藩、同流の剣客であり数多くの門人を育ててい



起請文の一部

風業の開基で、常楽寺殿は風業の戒名である。さすれば当然、風業の墓が中心になるべきだが、住職の話では、寛文五年伊勢亀の死を期に建立された墓であるので、義雄とその娘伊勢亀が中心。

松本五郎兵衛の門人は先に高杉晋作と手合せした人々と、松本家に保存されている文書の中に起請文（天保七丙申年・一八四四年）がある。この文書に本人を始め、門人十八名の姓名と花押が記されている。

若井奮吾、川俣秀助、増山治吉、川俣之進、西澤太休太、館沼政八、若井熊治、早乙女後藏、高際啓右衛門、野中庄左衛門、中村祐太、大橋晋治、西澤榮藏、人見熊治、荒川兵太、寺内長太、足助孝太、坂原勝三郎、これらの人々の姓名の前文に松本五郎兵衛の筆による書入がある。

起請盟文前書

一、神道無念流兵法剣術口傳直指秘術数條一輪無残所令授之最至不可他見言事

附家不可疎事

一、當門子弟他国居住之輩金背師家不可疎事

永可為門下事

一、兵衛道場壁書之數條堅守同門與子弟互以信結文相順而

心となっており、初代胤業の墓は、その左側の五輪塔であると、事であった。

義雄については雄山寺に墓があるので後にも述べたい。不可疎事

一、一流之奥旨令授之衆は造次密漏之不可離心事
右之衆々於相背兵法之翼利、風鬼神冥則不可通者已故奉請盡社冥道致生王之風簪仍如件
天保七丙申歲 政花押 摩利支尊天 八幡大菩薩 飯綱大権現

以上を文面から理解出来ることは、松本五郎兵衛が壬生城下内、外においても一流の剣客であったことは前述の通りである。松本家を始め前項で記述した門人諸家並びに起請文に姓名を連ねた面々、これらの剣士の活躍は松本壬生藩を物語る数多くの記録として史料が現存している。これらの記録については後日出版が予定されている資料編の中に編さんされているであろう。また野原正一郎については次回に詳細について記載する。

藤井小の子どもたちが

「市民のひとは、はみ込んで作るページです。まちのわだち」は、身近な「ユースやできごとを、職場の若者」を紹介される方は、男女は問いませんがなるべく独身の方方を、私の家族」は小学生男女の方、わたしの自慢料理」は主婦の方一報ください。

町民のひろば

短歌

何ゆえに茶の間に来しか忘れた
り思ひ出すため書齋に戻る
ゆるやかな登りの道を次々に追
い越されゆく我も老いたり
渡辺 寅八
来黒野の若草山は萌え初めて霞
の奥に鹿の声する

俳句

如月や外人墓地の碑の白き	鈴木 愛子
野仏の面輪は督女 こき が雪野原	高橋 田鶴
如月や藪吹 やぶふ き抜ける風の音	山崎 愛子
春彼岸菓子屋が花も商 あ へり	鈴木 木兎

蔵王でスキー楽しむ

町体育協会スキー教室



町教育委員会と町体育協会スキー部では、二月二十八日から三日にかけて、蔵王にてスキー教室を開きました。

何とか滑れるようになり、「来シーズンが待ちどおしい」と、早くも来年のスキー教室に期待が寄せられています。

私
の

わたしの

おかあさん

壬生東小学校一年
篠原 直子



わたしのおかあさんは、かん
ごふさんをしています。まい日
びよういんまで、スクーターで
いきます。八じごろでかけます。



お田さんのたけ子さん

べまゝいそがしくて、おそろくなるときもあるそうです。かえつておもしろのは、夕がたの五じ十五ふんごろです。わたしより三じかぐらいいおそいですよ。うちのおときとおかあさんは、とておもしろいです。よる、わしがきかえるときおかあさんは「たたみダン・ン」
「たたみダン・ン」といって、わたしのぬいだようふくをたたんでくれます。わたしがおかあさんのかみのけをたてあげたら、おかあさんは、そこをもつてわいました。わいのかたもおもしろくて、わたしまでわらってしまいました。わたしのおかあさんは、とてもいいおかあさんです。

職場の
わかも

渡部友康 (26)
大日塗装工業(株)



塗装の基盤作り

彼が就職希望で当社を訪ねて来たとき、当社の求人案内が、非常に神経を使う部門で薬品、温度、時間などの細かい点を管理しなくては出来ませんので、各方向から充分に検討し採用しました。

ハイオツカレサマデシタの
日の中に、彼の人間すべてが表
われています。研究、努力、実
行を始め他社員との協調性など
秀れた面を持った若者です。
運動好きな彼は、日曜日など
はよく仲間と会社のグラウンドで
野球を通して青春を楽しんでいる
様子です。

わたしの
自慢料理



こんにゃく
イタリア風
東原
柴田 ミツエ

【材 料】 4人分 板こんにやく2枚
生ワカメみじ切り1カップ・植物油
大さじ2杯・うす切りにんにく2片分
粉チーズ大さじ2杯・塩小さじ1杯・
醤油大さじ4杯・こしょう・タバスコ

【作り方】 ①こんにやくはひも皮うどん
のように切り、熱湯にくぐらせて水
気を切ります。②フライパンに油を温
め、うす切りにんにくを炒め、色づ
いたらこんにやくを加えます。③塩こ
しょうで味をつけ充分まぜたら、し
ょう油をナベハダを伝わらせるよう
に加えてよくまぜます。④水気を切
ったワカメを入れて、手早くまぜ合
わせチーズとタバスコで仕上げます。



〔このコーナーへは、
どなたでも参加できます
のでご一報ください。〕

